

ちば里山新聞

(第 41 号)

編集発行 NPO 法人ちば里山センター
 袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148
 電話 0438-62-8895
 題 字 倉島 貴浩
 (ワークホーム里山の仲間たち)

ちば里山新聞は千葉県からの事業委託を受け、特定非営利活動法人ちば里山センターが編集発行しています

ちば里山カレッジ

「次世代リーダー養成コース」受講生を募集

12 月から 7 回コース ふるって応募下さい 昨年度からちば里山センターが主催して始まった「ちば里山カレッジ」に、「次世代リーダー養成コース」が加わり、ことし 12 月から開講します。里山活動の経験や知見をさらに深めることにより、社会事業としての活動のあり方や里山団体の結成・運営などを追求していこうとするものです。概要は以下の通り。(カリキュラム等詳細についてはホームページや別紙案内チラシをご覧ください。)

- ◆期間 : 平成 26 年 12 月 6 日から平成 27 年 3 月 14 日 (土曜日・7 回)
- ◆内容 : 里山保全、自然環境、バイオマス、団体の運営・NPO 法人化など、里山保全から社会的起業・運営等にわたる座学 (4 日) やフィールド研修 (3 日) を通じて体験的に学びます。
- ◆募集人員 : 30 名 (先着順) ◆受講料 : 10,000 円
- ◆主催 : ちば里山センター ◆後援 : 千葉県、千葉県緑化推進委員会、袖ヶ浦市ほか
- ◆申込 : ちば里山センター事務局 ☎ 0438-62-8895 Fax 0438-62-8896

<http://www.chiba-satoyama.net/> E-mail : info@chiba-satoyama.net

「ボランティア養成コース」は 2 年目へ

H26 年度入学式挙行 今年度の「ちば里山カレッジ」が開講し、「ボランティア養成コース」の入学式が、平成 26 年 7 月 26 日「さわやか県民プラザ」で開催されました。今回の講座は、主として東葛地域の受講生を対象とするもので、千葉・内房地域での昨年に続いて 2 回目。平成 26 年度地球環境基金及び平成 26 年度県民の環境活動基金の支援を受けて実施されるものです。

式は 10 時から始まり、金親理事長の式辞に続いて来賓を代表して千葉県北部林業事務所の並木康雄所長から祝辞が述べられました。そのあと講師やスタッフの紹介が行われ式を終了しました。(写真=入学式後の全員集合)

今回の受講生は 38 名。入学式の午後には第一回目の講義が行われ、11 月 29 日の卒業式までの 10 回コースがスタートしました。カリキュラムは、千葉大学はじめ

千葉県森林課・森林研究所の職員ほか森林行政や整備に関する専門家や実務家など多様な講師陣による講座を軸に、里山フィールドでの実作業体験などが組み込まれています。また、里山団体でのインターンシップ制度もあり里山団体との交流ができるように計画されています。



「エコメッセ 2014in ちば」に参加

「協力して」と「協力します」をつなぐー

小さな森を育てよう 「エコメッセ 2014in ちば」が、9 月 23 日、幕張国際会議場において開催されました。ちば里山センターのブースは、「環境教育・環境学習」のゾーンで千葉県環境生活部と隣り合わせ。「小さな森を育てよう」をテーマにグラスポットに生けた小さな苗木等の展示販売を軸に、里山センターの活動紹介を行いました。折から祝日とあって子どもたちも多く会場は溢れんばかり。里山センターのブースにも大勢の訪問があり賑わいました。



（写真は、賑わう里山センターブース⑥と注目を集めた“フォレストグラス”

⑥)

ちばの里山から環境教育を

荏原グループ社会貢献活動を支援 8 月 9 日

ちば里山センターは、荏原グループが行っている社会貢献活動を支援する形で「ネイチャーゲーム」や「竹細工」などの“環境教育教室”を運営しました。



荏原グループはかねてから「世界の子供環境絵画展」を主催していますが（今回は第 17 回）、その開催に合わせ、子ども向けの環境教育を実施したいとの要請に基づいて、当センターが教育プログラムの業務委託を受けているもの。ことしで 3 回目。テーマは「ちばの里山から環境学習の輪を広げよう」。教室は、平成 26 年 8 月 9 日(土)午後、銀座アートホール 2 階に 14 組の親子 17 名が参加して始まりました。ネイチャーゲームは、「ふなばしネイチャーゲームの会」の指導のもとで、ゲームや紙芝居などにより“身近な里山の生き物を感じとる”体験をしました。また、竹細工では、「NPO 法人白い環境塾」の指導で竹とんぼを作成して楽しみました。

写真④=ネイチャーゲーム「コウモリとガ」 写真⑤=竹トンボづくり

エコプロダクツ 2014

- 期 間：12 月 11 日(木)～13 日(土) 10:00～18:00
- 会 場：東京ビッグサイト「森（もり）からはじまるエコライフ展 2014 展」
- テーマ：見つけよう！未来をかえるエコの知恵

日本最大の環境展です。ちば里山センターのブースにもぜひお立ち寄り下さい。

県や市の里山関連情報を交換

7月16日 市原市里山交流会

行政の支援のもとで団体が主体的に運営 市原市の「里山交流会」が7月16日、同市農林業振興課会議室で開催されました。これは市原市で活動する里山団体が相互に情報交換するとともに、行政との連携を深めて円滑な活動につなぐことを狙いにして、数年前から継続的に実施されているもの。今回は、地域の企業を含む11団体が参加し、①「里山シンポジウム in 君津」の開催報告及び「台湾里山保全関係者（国家公園管理者等）との交流」に関する報告、②市原市環境基本計画に基づく「市原市生物多様性地域戦略」について、③林野庁による「森林・山村多面的機能発揮対策事業」について、④市原市による「市原市里山整備補助金」についてなど、報告や意見交換を通じて情報共有が進められました。

森林・山村多面的機能発揮対策事業が拡大 中でも、③の林野庁事業については、ちば里山センター理事でもある伊藤千葉県里山林保全整備推進地域協議会事務局長から説明があり、ことしの千葉県におけるエントリー団体は、初年度の昨年の10団体から倍増（助成金額は3倍増）したこと、また、対象期間も平成28年度まで延長されたことなど、この助成事業が次第に理解され拡大していることが報告されました。

リレー・エッセイ 里山とわたし

“応用の引き出し”増やしながら現場対応

ちば千年の森の会 伊藤道男(千葉市)

私の世代だと都会育ちの人間でも子供時代には身近な雑木林などで遊んだ経験があるものだが、幕張の海岸近くで育った私は、空き地や海岸で遊んだ覚えしかない。カブトムシはスイカ畑で採るものだった。

そんな私がなぜか林学科に進み県の林業職員となり40年近く勤めたが、残念ながら直接的に森林を育成する仕事につく機会はなかった。担当した仕事はそれぞれに面白く、様々な経験は今の財産だが当時の私は何となく物足りない感じを抱いていた。

そうした中40歳近くで出会った里山活動で実際に木に触れると非常にわくわくして、里山活動に参加する都市住民の気持ちがよく実感できた。里山の現場で最初のうちは「教科書と現場は違う」と思うことがよくあったが、やがて「応用する引き出しが足りないだけ」と気づいた。

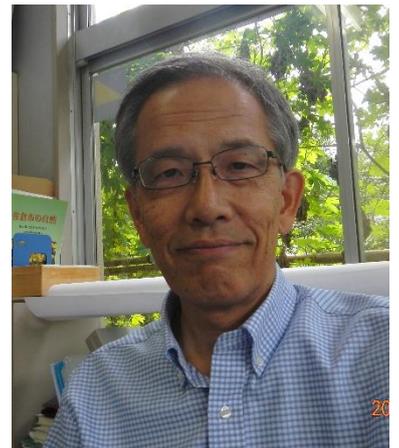
仕事の面では、ちょうど「林業行政」から「森林・林業行政」に移行する時期でもあり、里山活動の現場で得た市民感覚を行政に反映することができる幸運にも恵まれた。

ただ、行政マンと市民の立場を使い分ける場面で悩ましかったこともあり、“卒業”してからはボランティア三昧と決めていたが人生は思うようにならない。

昨年創設された森林・山村多面的機能交付金の事務局を仰せつかり、現在は里山センターに週3回勤めている。お世話になった千葉の里山に多少なりとも貢献したいと思うが、こちらの引き出しも急いで増やす必要を実感する日々である。

(ちば里山センター 理事)

写真④=「ちば千年の森」で小面積皆伐に挑戦



行事・イベントご案内

ふるってご参加ください

竹炭シンポジウム in 千葉

11 月 12 日 (水)

安価な竹炭製造の実演を行います。竹林整備はもとより、炭酸ガス固定による自然・環境改善、農業経営改善、雇用創出など、総合的な観点から検討を加え、千葉県内における活動のさらなる展開を図ろうとするものです。(「ちば里山カレッジ」の講座の一環として実施。)

- ◆日時：平成 26 年 11 月 12 日 (水) 10:00~17:00 ◆会場：千葉県緑化推進拠点施設 (里山センター事務所)
 ◆主催：NPO 法人ちば里山センター、NPO 法人竹もりの里、NPO 法人蔵前バイオマスエネルギー技術サポートネットワーク (K-BETS) ◆内容：炭化器による竹炭技術実演、シンポジウム、懇親会
 ◆受講料：1,000 円/名
 ◆申込：先着 50 名 (ちば里山センター事務局までお申し込みください。)

団体活動・イベント予定

イベント名・概要	日時	主催団体・連絡先
下大和田谷津田観察会とゴミ拾い	10/5, 11/2, 12/7 9:45~12:00	ちば環境情報センター
森や水辺の手入れ	10/12, 10/17, 11/9, 11/4, 12/14, 12/19 9:45~15:00	☎043-223-7807 E-mail hello@ceic.info
古代米稲刈り・脱穀・収穫祭	10/25, 11/8, 12/13 9:45~15:00	
野生キノコ観察会(観察のみ)	10/26	ちば千年の森
島内自然観察会など	11/16	☎090-2969-6811 伊藤
シカ個体数調査など	12/14	
第 23 回自然観察会「トンボ」	11/3 9:30~11:30 (雨天中止) http://harappanokai.web.fc2.com	NPO 法人 谷田武西原っぱと森の会 ☎047-491-8357 斎藤
里山講習会「原っぱの履歴」	11/9 13:00~16:00 //	
杉玉づくり体と新そば・新酒を味わう会	11/3 10:00~15:00	谷当グリーンクラブ ☎043-239-0645 金親
真里谷の森を巡る小さな旅	11/15 (雨天 11/16)	おとずれ山の会 ☎0436-36-3773 高橋
森のネイチャーゲーム	11/16 9:45~12:00 (主催) ふなばしネイチャーゲームの会	(申込) 船橋県民の森 ☎047-457-4094
第 3 回親子で竹林整備・環境学習	11/23 10:00~14:30	北総里山倶楽部 ☎047-457-5910 黒沢

*平成 26 年 9 月 18 日までに寄せられた情報です。*申込みを必要とする行事があります。事前に主催者にお問い合わせください。

~~~編集後記~~~

●「里山・裏山・命山」をテーマにした「里山シンポジウム in 君津」は 5 月に盛会裡に行われ、前回の里山新聞 40 号で紹介した通りですが、見出しにしたテーマの「裏山」が、なんと「浦山」になってびっくり。よく経験する変換ミスによるものとはいえ、編集スタッフ同大いに申し訳なくお詫び申し上げる次第です。一方で、「浦山」のほうに海とのつながりがある意味が深いのでは・・」とか「これからの里山センターはまさに“里山・里海センター”を目指してほしい。」などのご意見もいただき、励まされたところでもあります。これを契機にして、改めて校正漏れ等を戒めるとともに、さらに前向きな里山論議につなげてゆければ幸いです。君津の皆さん、今後ともよろしく願いいたします。(K.T)

●市原市の里山団体交流会の記事を掲載しました。いささかローカルに過ぎるとも思われましたが、市の担当行政部門の支援のもとで、ある程度自主的な運営が行われている意欲的で先端的な事例として紹介したいとも考えました。こうした試みを通じて、さらに地域間の連携が進めばと念じつつご参考に供する次第です。(T.K)

入会申し込み、問い合わせ先

特定非営利活動法人 ちば里山センター

〒299-0265 千葉県袖ヶ浦市長浦拓 2 号 580-148 ☎0438-62-8895 FAX0438-62-8896

E-mail info@chiba-satoyama.net HP <http://www.chiba-satoyama.net>